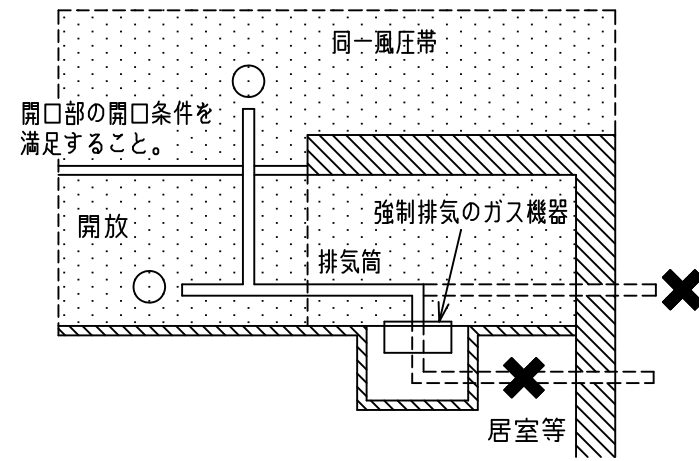


※排気延長は $\phi 100$  KP部材にて7m4曲りまで可能です。  
排気トップはガス機器の給気位置と同一風圧帯に設置してください。



- 排気筒を延長する場合
  - ・防火区画の貫通をさけて、排気筒の経路を決定してください。(屋内を通してはいけません)
  - ・防火ダンパは絶対に設置しないでください。

注) ドレン配管工事について  
この機器は燃焼中にドレン水が発生するため、別途ドレン配管が必要です。必ずドレン配管工事を行ってください。

※この機器はドレンアップ機能付きです。機器から排出される中和済みのドレン水を、機器内蔵のポンプで浴室の排水口に排出するための専用部材と配管工事が必要になります。詳細は工事説明書を参照ください。

※この機器は外気温が低い場合等、排気トップの先端から白い湯気(水蒸気)や水滴がでることがあります。ベンドトップは、必ずドレン対応専用部材であるEFTB-100KPKを使用してください。専用のベンドトップを使用しない場合、排気トップの位置は白い湯気(水蒸気)の発生やドレンの水滴落下による床ぬれ・飛散による支障のない場所に設置してください。

注) パイプシャフトの様式や大きさ等については水道局や消防等関係各所の規制がありますのでご注意ください。

名称	PS標準設置図			
型式	RUF-EP2401AB(A), EP2001AB(A), EP1611AB(A) RUF-EP2401SAB(A), EP2001SAB(A), EP1611SAB(A)			
作成	2012.10	尺度	1/10	サイズ A3
㊿ 株式会社				